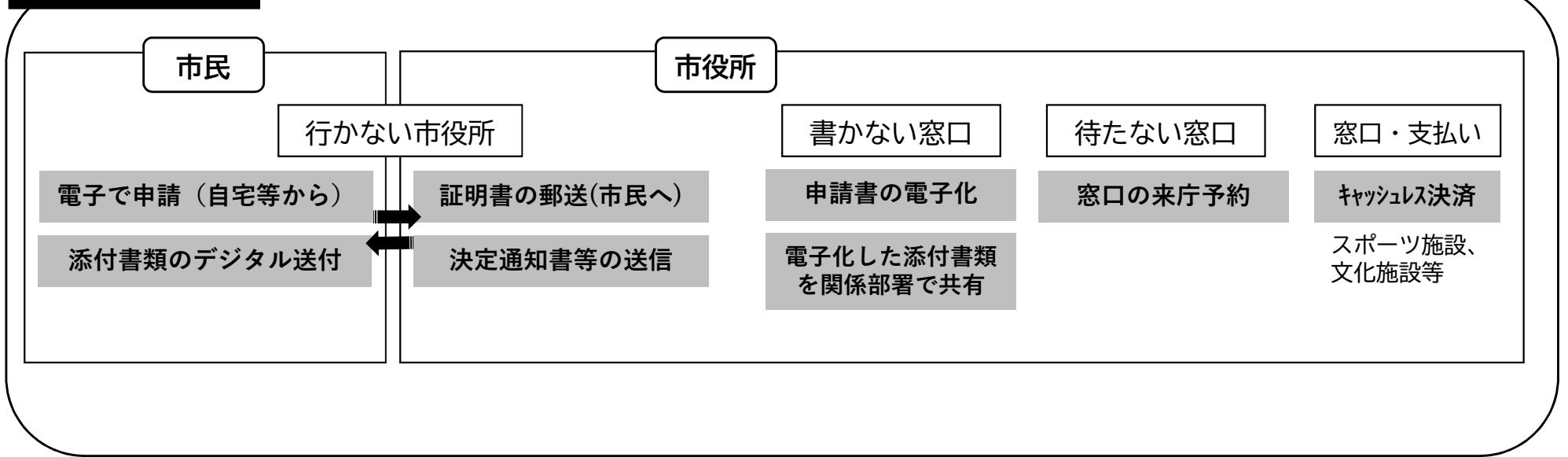


「令和7年度第2回 行財政改革審議会」

1.DX推進に向けた検討項目

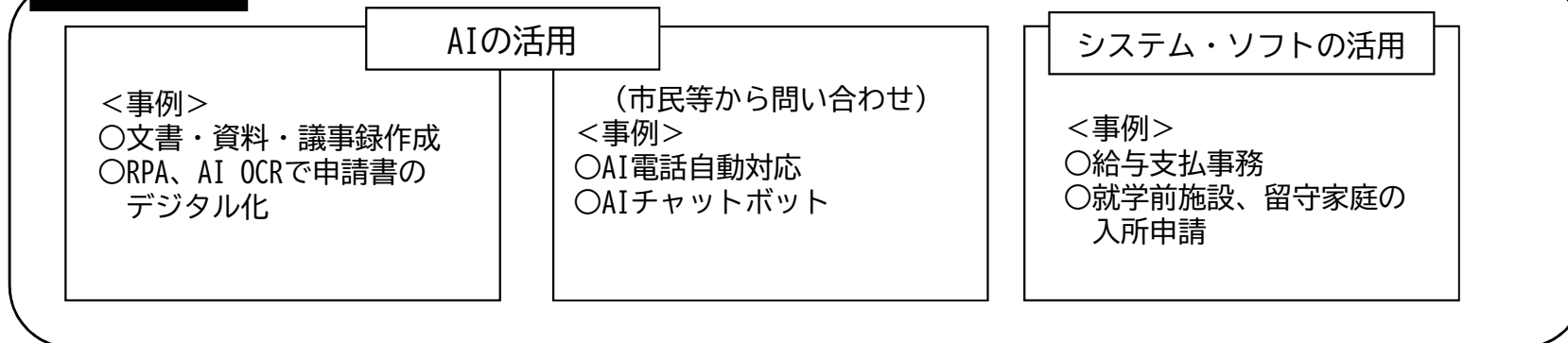
市民サービスの向上

市民の手続き



業務効率の向上

市の業務



「令和7年度第2回 行財政改革審議会」

2.部会でのご意見「現状の動きに対して」

(1)市民サービスの向上

- 申請手続きのオンライン化の推進

約500種類ある紙媒体での申請手続きについて、他業務との関連が少なく進めやすいものから電子申請化に着手すること。

《意見を踏まえた今後の方向性》

・留守家庭児童クラブ等の入所申請にて、電子申請フォームの作成を開始

(2)業務効率の向上

- 担当課で完結する業務改善

行政内部の業務改善は、担当課で速やかに進めること。

《意見を踏まえた今後の方向性》

・各担当課でシステム導入や改善の具体的な案がない場合、事務局(企画財政部)が支援

(3)他市の成功事例の調査と活用(先進自治体へのヒアリング)

他の自治体のDXの先進事例を調査し、参考にすること。

《意見を踏まえた今後の方向性》

・近隣の先進自治体として「伊丹市のスマート窓口」を視察

・他の先進自治体として「豊岡市のDX取組み」を確認

「令和7年度第2回 行財政改革審議会」

3.部会でのご意見「DX推進に向けた重要なポイント」

(1)人材育成とノウハウの蓄積

DXを推進した職員が他部署のDX化をサポートするなど、組織内でノウハウを共有・蓄積していく仕組みを構築する。

(2)人的リソースの再配分

DX化により生み出された時間やマンパワー(人的リソース)を、企画など創造性の高い業務や市民の複雑な相談業務などに再配分する。

(3)DX推進ビジョンの策定と宣言

ビジョンを掲げ、市民や職員の意識改革を促し、DX推進の機運を醸成する。

(4)成果の「見える化」

DX推進に向けた取組みの進捗状況を把握するとともに、市民にわかりやすい成果の「見える化」に向けた仕組みを構築する。

「令和7年度第2回 行財政改革審議会」

4.今後のスケジュール

【令和7年度】

- ・令和7年12月(予定):令和7年度 第3回審議会「中間答申」

【令和8年度】

- ・令和8年 5月(予定):令和8年度 第1回審議会

※以降については、「最終答申」に向けて適宜開催時期を調整

※必要に応じて「部会」を開催し、具体的な取組み内容を協議